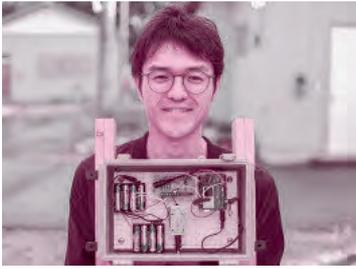


地域おこし協力隊

がゆく



▲樹皮をむいた杉の木



▲IoTを利用した箱わな用装置(自作)

地域活性化担当の松原功(こう)です。前回話をしました「人々の交流が生まれる森林」を考えるために、今年の夏は多くの時間を森林で過ごしました。その森林では「杉の皮をむく」ということを試してみました。「皮むき間伐」と呼ばれる手法です。最近は新聞で見かけることや県内で実践している方がいるので、ご存知の方もいらっしゃると思います。夏場、杉や檜の樹皮は簡単にむくことができます。樹皮をはぎ、ゆっくり枯らすことで、程よく乾燥された丸太にできます。この丸太は生木の丸太より非常に軽いです。間伐なので林業的側面で見るとあまり効率の良い作業ではありませんが、森林を利用したアクティビティとして捉えると新しい見方ができると思っています。多様な側面から森林の活用方法を試していき、人々の交流を生み出していけるような仕組みを作っていきます。

また、森林に入ると、猪の足跡や獣道をよく見かけました。これから冬にかけては「わな」を使った狩猟を活動の主軸にします。「猪を見かけた」や「猪で困っている」という話はよく耳にするので、ただ狩猟を行うだけではなく「野生生物と人間との関係性」を考えながら取り組んでいきます。

ひたまる先生を紹介します

vol.15



▲小泉むつ子さんと作品

私たちは、手編み同好会として活動しています。過去のワークショップ体験者が中心となり、世界でただ一枚のニットづくりを楽しんでいます。新情報の交換、資料や材料の提供、正しい基礎と理論の伝達と時には真剣に、時にはにぎやかに時間を過ごします。「テアミ」古くて新しい響きですがなかなか奥が深いのです。間違えたら、ほどけば良いのです。「私にもできますか?」「もちろんです。やる気と本気があれば!」

編み物大好きの輪を一目一目編みつないでみませんか?ぜひ一緒に。

■問い合わせ■ ☎52 - 1739

VOL.54

職員のつぶやき ~職員リレートーク~



▲左から河野さん、桑名さん

都市計画課の河野暉平です。私が担当している業務は、市営住宅に関することや定住促進や新婚家庭への助成金に関することです。まだ分からないことも多く先輩方に助けていただきながら業務に取り組んでいます。社会人1年目なのでまだまだ経験不足や知識不足だと感じるので様々なことに挑戦して、知識や経験を積み成長していきたいと思っています。

農林振興課の桑名和哉です。

私の担当業務は、道の駅常陸大宮・道の駅みわ・物産センターかざぐるまの施設管理運営業務と農産物ブランド化の推進として特産品認証事業を行っています。

採用された4月から気づけば半年以上経過し、普段の業務も落ち着いてこなせるようになりましたが、これからも入庁した時の新鮮な気持ちを忘れずにいきたいと思っています。

お詫びと訂正

広報常陸大宮11月号のひたまる先生問い合わせ先に誤りがありました。お詫びして訂正します。

■問い合わせ■ ☎53 - 1621